



わかむぎ

No.6 令和5年9月19日 発行/古屋正樹



3年生にとって最後の若麦祭
3年間の思いを込めて..
それが また押中の伝統となる

第59回 若麦祭 ~テーマ「三原色」~ **大成功!!**

人生で一番大きな成長ができると言っても過言ではない中学生時代。この青春真っ只中に行われる若麦祭からは、とてつもなく大きく、また格別なものを得られます。日々の皆さんの表情からも、いい時間(心豊かな時間)を過ごしているなど感じていました。また、皆さんの頑張る姿を見ながら、私自身もこの押原中で熱く燃えたことを思い出しました。

この2週間、自分のため、仲間のために懸命に取り組み、それぞれの場所でしっかりと責任を果たし、懸命に努力してきたことと思います。2日間の若麦祭ではありますが、そのための準備や労力は並大抵のものではなかったと思います。当日だけがんばればいいと思った人は、誰一人いなかったはずです。その証拠に、閉祭式後の皆さんの表情には、達成感・成就感・安堵感といった清々しさがありました。また、閉祭式で見せた志村会長の涙もそれを物語っていました。よく「苦労や困難が大きければ大きいほど達成した時の喜びや感動は大きく、人を成長させてくれる」と言います。まさに、熱く燃えたこの大きな経験こそが、皆さんのこれからの糧となり大きな成長につながっていくことでしょう。

2日間の若麦祭では、皆さんの生き生きとした姿をたくさん見ることができました。この若麦祭を通して、仲間とともに熱く燃え、自身の達成感はもちろん、仲間との堅い絆も培われたことでしょう。それも一生懸命さや謙虚さがあってこそのこと。やはり「**一生懸命な姿**」は、**大きな成長を呼びます、人の心を打ちます**。若麦祭を大成功に導いた皆さんに、そして、「**一生懸命が、一番かっこいい!**」を体現してくれた皆さんに、**大きな拍手**を送ります。



押中生の勇姿





「一生懸命が一番かっこいいし、一生懸命が一番楽しい。」

(閉祭式 志村生徒会長の言葉より…)

